

秋の星空

北

東

西

南



星空紹介

10月上旬 23 時頃
11月上旬 21 時頃
12月上旬 19 時頃

暑さが和らぎ、夜風が心地よく感じられる季節。秋の夜空には、落ち着いた星々の光が広がります。天頂付近には、星でできた四角形が見られます。これは、秋の四辺形と呼ばれ、羽の生えた天馬ペガスス座の胴体の部分です。その北東の角に位置するアルフェラッツは、ペガスス座ではなく、アンドロメダ座の星です。さらにその北東方向には、ペルセウス座があります。ギリシャ神話では、勇者ペルセウスが、海の怪物からアンドロメダ姫を救ったと伝えられています。アンドロメダ姫の北西にある W 字形に並ぶ星々は、母親カシオペア座です。さらにその北には、父親ケフェウス座も見ることができます。アンドロメダ座の方向には、ぼんやりとした光のように見えるアンドロメダ銀河 (M31) もあります。私たちの銀河系の近くにある銀河で、空が暗いところでは、肉眼でもうっすら見えます。秋の四辺形から南東方向に目を移すと、大きな V 字形に並ぶ星々が見えます。これは、うお座です。さらにその南東には、アンドロメダを襲おうとした海の怪物、くじら座が広がります。また、南の低い空には、ひときわ明るく輝く星があります。それがフォーマルハートです。秋の星空の中で目立つことから秋のひとつ星とも呼ばれています。名前はアラビア語で、魚の口という意味で、みなみのうお座の口にあたります。そのすぐ北側には、みずがめ座の瓶からこぼれる水が、みなみのうお座の口に注がれているように見えます。うお座とみずがめ座の間には土星が輝いています。今年の3月には、土星が地球から真横に見える位置にきたため、望遠鏡で観察すると、環が見かけ上消える現象がおきました。秋は真横からではないですが、細い環を確認することができます。見頃なので、望遠鏡をお持ちの方は、是非、観察にチャレンジしてみてください。



みどころ

惑星

- ★金星：10月上旬ごろまで日の出前、東の空に見える。(明けの明星)
- ★木星：夜半過ぎから東の空で輝いている。
- ★土星：一晩中、観察できる。

流星群

- ★ふたご座流星群
12月14日17時ごろピーク。
月明かりの影響も少なく、好条件。
観察には13～15日がおすす。

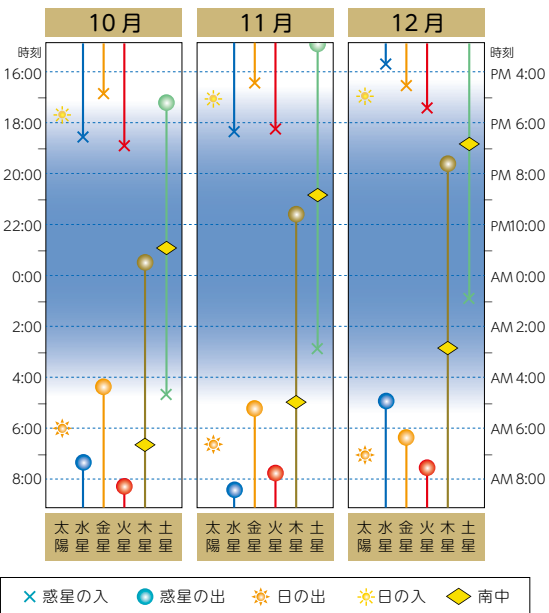
月

- ★中秋の名月 (旧暦の8月15日)
今年は10月6日。

月の満ち欠け

新月	上弦	満月	下弦
9/22	9/30	10/7	10/14
10/21	10/30	11/5	11/12
11/20	11/28	12/5	12/12
12/20	12/28	1/3	1/11

各月上旬の惑星の見え方



宇宙天気予報は放課後に



プラネタリウム 番組紹介

放映期間：9/13(土)～12/7(日)

主人公 りたの将来の夢は宇宙天気予報士になること。今はまだ「宇宙天気予報士」という職業はありませんが、りたは近い将来絶対に必要となる仕事だと考えています。ある日の放課後、夢についての授業がきっかけで、同じクラスの祐香と遼斗と話をすることになったのですが……。みんなで宇宙天気について考えたり、VR (仮想現実) で宇宙を体感したり、普段とはちょっと違う放課後はじまりです。

こちらも放映中
特別番組

彼方のエイリアン
～宇宙人のさがしかた～

この広い宇宙に、私たちと同じような生き物、「宇宙人」はいるのでしょうか？果たして宇宙人は私たちにとっておそろしい存在なのか、それともトモダチになれるのか……!? マキとといっしょに彼方の星々を旅しながら、「宇宙人の探し方」を探りにいきましょう!



※特別番組は12:00のみの放映です。※イベント等により、休映することがあります。